

【概要・目標】**【概要】**

がん看護専門看護師の役割実習における学びと探求した自らの課題をもとに、複雑かつ解決困難な問題を持つ特定領域のがん患者・家族に対して、専門知識に基づいた臨床判断を行い、熟練した技術と専門家としての倫理観に基づいて、患者の QOL 向上に軸足を置いた、質の高い看護ケアを提供する能力を養う。

【目標】

- ① エビデンスに基づいた高度実践看護力を発揮できるように、身体的、心理的、社会的、霊的 4 側面のアセスメントを行い、優先順位を考えたケアプランを作成することができる。
- ② 作成したケアプランに基づき看護を実践することができる。
- ③ 提供した看護ケアに対する受け持ち患者・家族からの客観的評価をもとに、エビデンスに基づいた看護ケアの評価を行うことができる。
- ④ がん患者・家族の心の揺らぎに寄り添う看護ケアを行うことができる。
- ⑤ がん患者・家族に生じた倫理的問題に対する調整の場に参加し、がん看護専門看護師の役割の中で課題を見つけ、探求することができる。

【実習期間】

10 月から 3 月における 3 週間（15 日間）

【実習施設及び指導者】

和歌山県立医科大学附属病院 有本幸恵 臨床教育講師／がん看護専門看護師

和歌山県立医科大学大学院保健看護学研究科 山田 忍(がん看護専門看護師)

【授業内容・スケジュール】**① 基本的スタンス**

受け持った困難事例 2-3 名について、一連の看護過程（アセスメント、看護診断、ケアプラン作成、実施、評価）を展開する。立案、実施、評価した内容に関し、実習指導教員に相談・連絡・報告する。

② 日々の実習

高度な専門知識と実践能力を持つ、指導教員(がん看護専門看護師)のスーパーバイズの下、「困難事例」を受け持ちがん患者の QOL の向上に向けた看護ケアを計画・立案・実施する。その際、下記の内容・方法を参考に、病棟看護師長のスーパーバイズを受けながら行う。必要時、指導教員に報告・連絡・相談する。

③ 内容

- (ア) 困難事例に関するカンファレンスや事例学習会に参加し、その内容を考察する。
 - (イ) 実習場内外で開催される「困難事例に関する検討会」に参加し、その内容を考察する。
 - (ウ) がん拠点病院等との連携の場において困難事例に関する情報を収集し、困難な状況について体系化する。
-

- (エ) 症状マネジメントに関する情報交換に参加し、「検討された内容」の効果について、実践結果をもとに検討する。
- (オ) 困難事例の検討に当たり事例記入フォーマットを活用し、病棟看護師と情報交換し、分析内容を共有することができる。
- (カ) 実習病棟の「困難事例集積に関する分析」等の技法を活用する。
- (キ) 「がん性疼痛」に関する知識を整理し、「がん性疼痛看護」に関するアセスメントシーートの提示、疼痛緩和看護技術としてのポジショニング等について実施し、その内容を考察、体系化する。
- (ク) 専門性の高い看護（リンパ浮腫ケア、スキンケア、自壊創に対するケア等）を必要とする事例の看護を実施し、それぞれに関する適切な知識・技術に関する情報とその課題を考察する。
- (ケ) 患者・家族の予期悲嘆に関する看護を実践し、考察する。

④ カンファレンス

第1週、第2週の終わりに中間カンファレンスを、3週終了日に最終カンファレンスを開催する。実施した看護実践について討議し、指導教員(がん看護専門看護師)の助言を得て、学びの課題・意義を明確にする。開催に際して、カンファレンス資料を関係者に配布し、終了後に記録を作成する

第3週最終日は、実習施設の実習指導者(がん看護専門看護師)と看護師長、担当教員(がん看護専門看護師)のスーパーバイズのもとで総括カンファレンスを開催、実習の反省と次回実習に向けての課題を明確にする。

⑤ 実習中の記録

(ア) 日々の実習記録

実習記録には、①日々の実習目標、②参加あるいは実施した場面と考察および評価、③今後の課題を記録し、毎日、実習指導教員が指定した時間に提出する。

(イ) カンファレンス記録

中間および最終カンファレンスの内容（討議内容、助言・示唆等）をA4版2枚程度にまとめ提出する。

(ウ) 課題レポート

総括カンファレンスでのスーパーバイズをもとに、「受け持ち患者への看護実践とその評価・課題」をテーマにしたレポートを作成して実習指導教員に提出する。個別性を重視しエビデンスに基づいて作成し実践した問題解決過程の実際、および質の高い看護援助法について記載する。

【評価】

- ① 出席状況や実習への参加状況、実習指導者の評価、カンファレンス参加者の評価（50%）
- ② 日々の記録、カンファレンスの記録、課題レポート(課題は実習要項に記載)の内容（30%）
- ③ プレゼンテーションや討議への参加（20%）

【その他】

連絡先：yamada-s@wakayama-med.ac.jp